

編集後記

(57巻 第10号 2011年10月)

東京で行われた“The Best of AUA in Japan 2011”に参加し、その帰りの新幹線で記事を書いている。AUAになかなか参加出来ない若手泌尿器科医のために昨年から企画されたもので、毎年のAUA年次総会のトピックスをサマリーする教育企画である。AUAの全面協力のもと、4名のプレゼンターを送っていただいているが、基本的には新進気鋭の日本の若手泌尿器科医がサマリーを担当している。今年は全国から150名を越す若手が参加したが、演者の周到な準備もあって、レベルの高いサマリー講演を日本語で聞くことができた。

今年で2回目の開催となるが、2年前の企画時にはAUAから派遣されたプレゼンターの発表のみにすることが検討された。しかし、日本にも優秀な若手がいることをAUAに知ってもらい良い機会でもあり、またこの演者となることが若手泌尿器科医の登竜門になればという期待からこのような企画となった。この2回の内容をみると、われわれの期待した方向で順調に運営されているように感じられる。来年も開催されると思うので、もし機会があれば参加してみたい。

(小川 修)